

L：H口、H麻

H麻が夏休みを取れたので山小屋泊りの山行へ行く事にした。最初は鳥海山へと思っていたが移動距離や行程を考えて見直し、それより手前の船形山へ行く事にした。僕はもちろん初めてであったが、H麻は山スキーでも行った事があるそうだ。

前夜、適所で仮眠を取って登山口のある旗坂野営場へと向かう。旗坂野営場へは大和インターから西に走って行くのが普通だが、ナビで下道を選んだら泉ヶ岳を抜けて行くルートが示された。到着時間もそんなに変わらないしこれで行ってみよう。

スキー場の斜面を見ながら上がって行くとスプリングバレースキー場を越えた所で舗装路は終わった。その先、砂利道に入っていく。結構ガタガタの砂利道で深く挟まれた所には鉄板が敷かれている。所々に丸太が詰まれている、普段は丸太を運ぶトラックくらいしか通らないのだろう。走り続けるのが苦痛になってくるが、ナビを見ると旗坂野営場までまだ10km以上もある。

耐えて耐えて、遂にやっと旗坂野営場に着いた。ふう…。車が2台停められていた。

準備を整えて9:30に出発。登山口には㊸という番号が記されていた。歩き出すと広葉樹の森が広がっている。やがて㊹の印を見つける。さらに進むと㊸の印、何かオリエンテーリングみたいだ。旗坂平の標識で一本取った。



ブナの森は明るく、道が平らになると散歩道のような。三光の宮の分岐から30m入り11:40、展望が開ける三光の宮に出た。

雲は出ていたが広い眺望が望めた。碑があって太陽と月と星の形がある。太陽の光、月の光、星の光で三光なんだな。

再び歩き出すと途中で10人パーティーが下りて来た。高校山岳部の夏合宿らしい。昨晩は升沢小屋に泊まり、今朝山頂を往復して戻って来たそうだ。

その升沢小屋に13時到着。赤い屋根のきれいな小屋だった。この先の沢が水場になっている。山頂の船形山小屋には水場が無いのでここで汲んで持って行く事になる。するとザックを探っていたH麻が

「私、大切なものを忘れちゃった…」

水を入れるプラティパスを家の台所に置き忘れてきてしまったと言う。

「な・に・い！」

行動用の飲み水だけでなく夕飯と朝食の調理に使う水も必要だ。僕が合計で40、H麻が10。それで足りないわけではないだろうが、念のために持っていた飯盒にも水を入れて持ち上げる事にした。

升沢小屋からは沢の流れを上がって行く。片手にストック、片手に飯盒。沢が涸れると急な斜面になる。とにかくこのまま行かねば。

「ゴメンね。かつ井で許して」とH麻。

許すと言うより今回はそれで話を飲もう。毎度の事だが、しっかりしてほしい。

千畳敷に出ると周りが開けた。なだらかな低山の連なる景色が心地良い。H麻が山スキーで来た時の話しをしたが確かにこの辺りの斜面を滑るのは気持ち良さそうだ。

右手に船形山小屋が見えてきた。名前から連想されて山の上に残されたノアの方舟のように思える。弧を描くように山頂に近付くとてっぺんに立つ標識も見えてきた。薄いグリーン屋根と白い壁の山小屋は丘の上に立つ教会のようにも見える。周りを低木に囲まれた牧歌的な眺め。特に山頂の標識と小屋が一緒に見える景色がなかなか詩情があって良い。



小屋の前にザックを置いて 14:50 に山頂に立つ。下界を雲が覆っていたが正面には雲の上に形の良い山容が浮かんでいた。

「あっ、あれ鳥海じゃない。」

じゃあ左の平たいのは月山だ。さらに左は以東岳とか朝日岳だろうか。東方面には雲海が広がっていた。

「1,500m くらいでこんな眺めが見れるなんてすごいね。」

ひととき眺望を楽しんで小屋に入った。小屋の中は二階建てになっていた。まずはコーヒーで乾杯。一息ついてマットやシュラフなどをザックから取り出すと

「あっ！ あー…」とH麻が声を発した。

ザックの底の方から忘れたはずのプラティパスが出て来たのだ。H麻全開！開いた口がさらに開いてしまった。

「アタシ、何でこんななんだろう…。」

かつ井はとんかつに格上げされた。

夕食はカレー&ナンとスープで済ました。外に出て空を仰ぐと星がきれいだった。さそり座、はくちょう座、夏の大三角形、北斗七星、カシオペア、わかるのはそこまで。明日も晴れはまちがいない。

平日の今日は他に来る人は無かった。20 時にはシュラフに入る。この時期なのに都会では考えられない快適な涼しさだった。

4:30 に起きるともう周りは明るくなっていた。夜半に強く吹いていた風がいくらか収まっていた。風の中、山頂へ行くと雲海の上に今日も鳥海山、月山が浮かんでいた。陽が上がって来て山頂の標識が赤みを帯びてきた。小屋の東側もオレンジ色に染まる。南方面の雲海の上には別の雲が東側へとたなびいていた。

朝食は朝ラーにした。コーヒーを飲んでゆっくりした。ゆったりできる小屋だった。なかなか離れがたかったが 6:50 に小屋を発った。

今日は昨日と違って北側を回って三光の宮に出るルートに行く。頂上近くの分岐からは岩がゴロゴロした急な下りだった。樹林帯まで下りると傾斜が緩くなった。

湯谷地の先の分岐から三光の宮までは今日唯一の上りとなる。谷筋を上って行くと三光の宮に近付くにつれブナの森がいい感じになってきた。9:10、三光の宮の分岐に着いた。三光の宮まで上がってみたが景色は真っ白であった。

三光の宮の分岐には㊥の番号が振られていた。今度は番号をカウントアップする。ブナの森を下って行き、途中㊥の一群平で一本取った。

下るにつれてブナの木が全体的に細くなってきた。㊦の番号が見えて 11 時、旗坂野営場に戻って来た。

帰路、またあの長い砂利道を走りたくなかったので大和インターの方へ向かう事にした。最初から舗装された道でストレス無く走って行ける。えらい違いだ。

仙台の友人と落ち合ってランチを一緒にして別れ、今夜の宿、鎌先温泉に向かった。さて、とんかつはどこでご馳走になろうかな。

(H口 記)

